

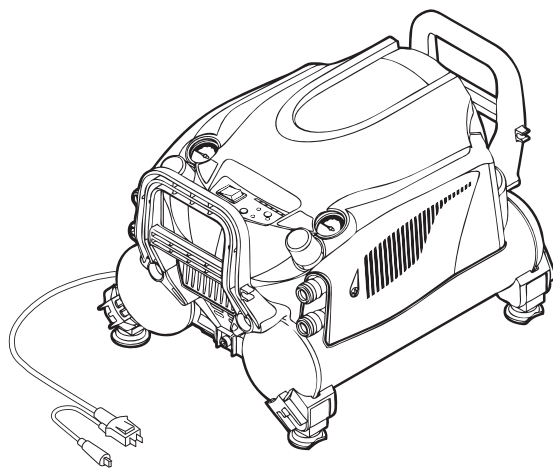
日立工機高圧エアコンプレッサ

145L/min EC1443H

高圧エアーパーチ

取扱説明書

このたびは日立工機高圧エアコンプレッサをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。



目次

お願い	2	4. 運転準備から停止まで	8
安全上のご注意	3	5. 保守・点検	11
はじめに	6	6. 故障のときは	11
1. 各部の名称とはたらき	6	7. 補助タンク接続について	11
2. 現品の確認	7	標準仕様表・全国営業拠点	裏表紙
3. 運転時のご注意	7		

お 願 い

高圧エアコンプレッサを安全に 正しくお使いいただくために

- この取扱説明書は、必ず運転および保守点検を担当される取り扱い者の手近な所に保管しておいてください。
- この取扱説明書・注意銘板の内容を最後までよく読み、据え付け・運転・保守点検を実施してください。
- 据え付け・運転・保守点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、安全の情報や注意事項・操作・取り扱い方法などの指示に従い、正しくご使用ください。
- 常に、この取扱説明書に記載してある使用範囲を守ってご使用ください。また、正しい保守点検を行い、故障を未然に防止するようお願いします。
- この取扱説明書に記載していない操作・取り扱い、日立純正部品以外の交換部品の使用や改造などを行わないでください。機械の故障・人身災害の原因になることがあります。これらに起因する事故については、当社は一切の責任を負いません。
- この取扱説明書で理解できない内容・疑問点・不明確な点がございましたらお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにお問い合わせください。
- この取扱説明書に記載している内容については、機器の改良などのため将来予告なしに変更することがあります。
- この製品は駆動源にインバータモーターを採用しており、高電圧を発生する部分がありますので分解・改造は絶対に行わないでください。
- 運転不能・故障などが発生した場合は、すみやかに次のことをお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご連絡ください。
 - ・形名、製造番号・ご使用時間など
 - ・異常内容（異常発生前後の状態を含め、できるだけ詳細に）
- 本機は釘打機などの空気工具用の空気圧縮機として製造していますので連続運転となる用途には向いていません。他の用途には使用しないでください。
- 本機には、一般用取り出し口〔約0.8MPa {8.2kgf/cm²}〕と高圧取り出し口〔約2.5MPa {25.5kgf/cm²}〕を設けてありますが、高圧取り出し口には、絶対に「一般用のホース類、工具類を接続しないでください。
- 釘打機および空気工具の取り扱いについてもご使用機器の取扱説明書をよく読み、取り扱いください。
- 本取扱説明書の内容の一部または全部を無断で転載したり、複写しないでください。

安全上のご注意

高圧エアコンプレッサの使い方を誤ると発火事故、感電事故などを起こす場合があります。据え付け・運転・保守点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み正しく実施してください。機器の知識・安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。警告・注意の表示は危険かつ重要な情報を強調してあります。

⚠警告・⚠注意の表示について



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的傷害のみの発生が想定される内容を示しています。

重 傷： 失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。

傷 害： 治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などを指します。

物的損害： 財産の破損および機器の損傷にかかわる拡大損害を指します。



禁止

この記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容が描かれています。

これら安全上の注意は、高圧エアコンプレッサの安全に関して、より重要な面を補う提案です。お客さまは、機器・施設の安全な運転および保守のために各種規格・基準に従って安全施策を確立してください。お客さまがこれらの安全上の注意を無視した結果の責任は負いかねます。

特に安全上注意していただきたい内容について記載します。この他にも注意していただきたい項目が本文中に記載してありますので順守願います。



警告

- 高圧エアコンプレッサで吸入圧縮、圧送できるガスは空気のみです。空気以外のガス圧縮には絶対に使用しないでください。（火災・破損などの原因）
- 本機は釘打機などの空気工具用の空気圧縮機として製造していますので連続運転となる用途には向いていません。他の用途には使用しないでください。

安全上のご注意（続き）

運転準備

警告

- 作業場は、いつもきれいに保ち、十分明るくしてください。
- 作業環境に対応し保護メガネ・保護帽・安全靴・防音保護具・などを着用してください。
- 近くに爆発性・引火性ガス（アセチレン・プロパンガスなど）・石油類（ガソリン、灯油など）・有機溶剤（シンナーなど）・爆発性粉じんなど、および火気のない場所で使用してください。（火災、事故の原因）
- 雨や蒸気などの水分のかかる場所では、使用しないでください。（漏電・各部の発錆・寿命低下の原因）
- さし込みプラグの金属部には手を触れないでください。（感電事故）
- 濡れた手では絶対に触れないでください。（感電事故）
- 周囲の温度が圧縮機運転中に 5～40℃の範囲で使用してください。
（軸受寿命低下・焼き付き・動作不良・破損の原因）
- 接地線はガス管には絶対に接続しないでください。（ガスによる火災・爆発事故の原因）
- お子様や作業関係者以外は近づけないでください。（人身事故の原因）
- 移動や落下の恐れがあるので、床面が硬い、水平な面に置いて使用してください。また、高所で使用する場合は落下防止（ハンドルをロープやバンドで固定）を確実にしてください。（人身事故の原因）
- 開口部に指およびくぎ、ドライバー、テープなどの異物を入れないでください。
（人身事故・製品の破損の原因）
- 高温や直射日光の当たる場所や狭い箱などに入れての使用はしないでください。また、吸気・排気口をふさぐ状態での使用はしないでください。（寿命低下の原因）
- ごみ、ほこりの多い場所での使用はしないでください。鉄粉、砂じん、粉じんなどの異物がかかる場所では使用しないでください。（加熱事故・異常磨耗の原因）
- カプラにエアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。（破損事故）
- 油断しないで十分注意して作業を行ってください。本機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。常識を働かせてください。疲れているときは、使用しないでください。

注意

- アンモニア・酸・塩分・オゾンガス・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。
（圧縮機全体の発錆・寿命低下の原因）
- 水平な床に設置してご使用ください。
（転倒・破損事故の原因）
- コードに無理な力を加えないでください。
（断線・ショート・焼損事故の原因）
- 電源電圧が単相 100Vであることを確認してください。また、発電機や直流電源では使用しないでください。
（起動不良・モーター焼損などの原因）
- 本機が接続される電源に、感電防止用漏電しゃ断装置（15mA 相当）を設置してください。また、接地工事を必ず行ってください。
（漏電・感電事故の原因）
- 電源は十分余裕のある 30A 以上の容量としてください。
（起動不良・モーター焼損などの原因）
- 継ぎ（延長）コードの接続をさけ、直接電源に接続してください。また、継ぎコードを使用する場合は、アース線を備えた 3 心キャプタイヤケーブルで太さ 2mm² 以上、長さ 30m 以内としてください。
（起動不良・モーター焼損などの原因）
- 継ぎコードでの他の機器との併用はさけてください。
（起動不良・モーター焼損などの原因）

安全上のご注意（続き）

運転するとき



警告

- 一般取出し口には別売の耐熱温度 60℃以上、最高使用空気圧力 0.98MPa {10kgf/cm²} 以上、呼び径 6mm以上のホースを使用してください。
高圧取出し口には高圧専用ホースを使用してください。
(破裂事故の防止)
- エアホースは優良なエアプラグ、ホース金具で確実に固定されているものを使用してください。(抜けによる事故防止)
- 空気工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には減圧弁を設定しないでください。(破損、破裂事故の防止)
- ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および磨耗粉、サビなどが含まれます。顔に向けてドレンを排出しないでください。周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンコックを開いてください。また、顔を近づけてエアホースを抜かないでください。(失明の原因)
- 落としたり、ぶつけたりしますと、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中の圧力により、破損片が飛散し、人身事故につながる場合があります。
- ハンドルに変形や破損およびねじの緩みがある場合、運搬中に落下して破損および人身事故につながる場合があります。
- ハンドル、空気タンク、制御ボックスなどに変形や破損および、ねじの緩みがある場合はそのまま使用せずにお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに連絡し、修理してください。
- コードを無理に引っ張らないでください。断線やショートの原因となり、焼損事故につながります。
- 製品に物を載せたり、座ったりしないでください。
(破損・故障の原因)
- 運転時、運転直後に空気タンクなどの金属部に直接手で触れないでください。(人身事故の原因)
- 本機を運搬するときは、各部の温度が十分さめてから行ってください。さらに必ずスイッチを切り、さし込みプラグを電源から抜き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いてから運搬してください。



注意

- 電源スイッチを切り、次に運転する場合は、5秒以上の間隔をとってください。
(起動不良の原因)
- 連続運転となるようなご使用はしないでください。
(寿命低下の原因)
- 電圧が極端に低い場合は、サーマルプロテクターが作動せずにモーターがうなり音を発した状態が続き、モーターの焼損に至る場合があります。

保守点検のとき



警告

- 保守点検作業時は、必ずさし込みプラグを電源から抜き、空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてから行ってください。(感電・けがの原因)
- ご購入後、3年または、実働500時間を経過したら、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターへ連絡しオーバーホールを行ってください。
(破損・事故の原因)
- なお交換部品は、必ず日立純正部品を使用してください。
(破損・事故の原因)
- 故障のときは、使用せずにお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターへ連絡し修理を依頼してください。
- 電源を入れたままカバーを開けますと、冷却ファンが露出し、運転した場合に人身事故につながる恐れがあります。
- 空気タンクに空気漏れがある場合は絶対に使用しないでください。また、空気漏れ箇所の補修、改造も絶対に行わないでください。
(破損・破裂による人身事故の原因)
- 製品の分解・改造および部品の改造は、絶対にしないでください。(破損・事故の原因)



注意

- 長期間（1ヶ月以上）ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行い、サビ付きなどを防いでください。また運転を再開する場合も同様の運転を実施してください。
(異常磨耗・破損・事故の原因)
- 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない場所に保管してください。

- 電源や配線の容量が不足し電圧が下がった場合は、空気を圧縮しないことがあります。適切な電源・配線でご使用ください。
- 電圧の低い状態および高い状態で使用されますと、性能低下さらに、故障の原因となり、製品寿命を短くしますので適正な電源でご使用ください。
- サーマルプロテクターが作動しなくなるような改造は絶対にしないでください。
(起動不良などによる焼損事故防止ができなくなります。)
- 停電および雷の場合、必ずさし込みプラグを電源から抜いてください。(破損・事故の原因)

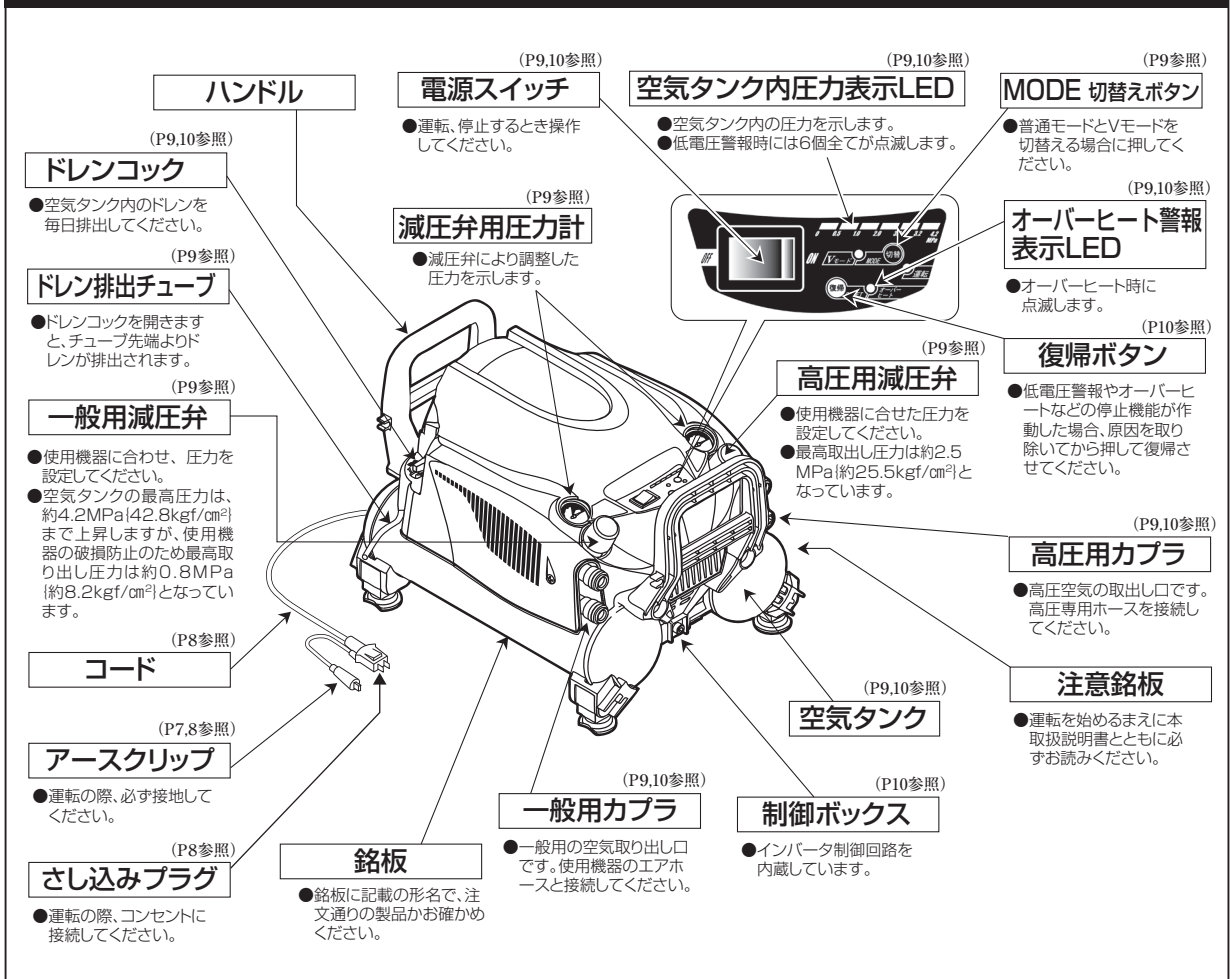
はじめに

このたびは、日立工機高圧エアコンプレッサをお買い上げいただきまことにありがとうございました。高圧エアコンプレッサは、空気釘打機などの空気源として開発したもので、連続運転となる条件での使用はできません。高圧エアコンプレッサをより安全に、かつ良好な状態でお使いいただくために、運転を始める前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、十分理解いただきますようお願い致します。また、品質・性能向上、その他の事情で部品の変更を行うこともあります。その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

警告

1. 本機は釘打機などの空気工具用の圧縮機として開発したもので、連続運転使用には適しません。連続運転の用途には用いないでください。
2. 高圧エアコンプレッサで、圧縮・圧送できるガスは、空気（大気圧状態）のみです。空気以外のガスは絶対に使用しないでください。（サビつき、異常磨耗、火災や爆発事故につながります。）
3. 本機には改造を絶対に加えないでください。（人身事故につながる場合があります）

1. 各部の名称とはたらき



2. 現品の確認

1. 荷ほどきをされましたら、ご注文どおりの製品かお確かめください。製品の側面（一般用減圧弁取付側）に張り付けてあります銘板により、本機の形名と現品の確認をしてください。
2. 輸送中の破損、変形箇所がないかお確かめください。

⚠ 注意

1. 製品の側面に張り付けてあります銘板により、本機の形名と現品の確認をしてください。
2. ご注文の製品と異なる場合または輸送中の破損、変形箇所がある場合は、必ずお買い求めの販売店へご連絡ください。破損、変形箇所がある場合、そのままご使用になりますと、損傷事故などにつながる場合があります。

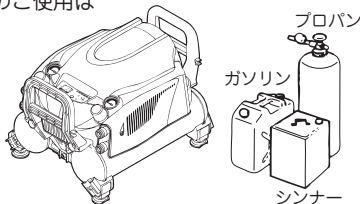
3. 運転時のご注意（安全のため特にご注意ください。）

⚠ 警告

引火性ガス、爆発性ガス、腐食性ガスのある場所でのご使用はしないでください。



禁止

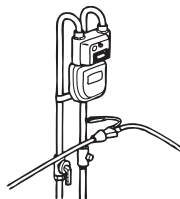


（火災や爆発事故につながります。）

アースクリップはガス管には絶対に接続しないでください。

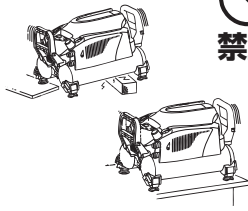


禁止



（ガスによる火災・爆発事故につながります。）

移動や落下の恐れがあるので、床面が硬く凹凸のない水平面に置いて使用してください。また、高所で使用する場合は落下防止（ハンドルをロープやバンドで固定）を確実にしてください。



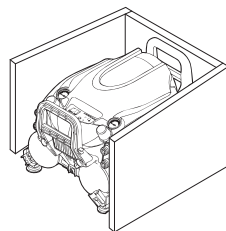
禁止

（製品の底面の破損、落下や移動により思わぬ人身事故を招きます。）

高温や直射日光の当たる場所や狭い箱などに入れての使用はしないでください。また、吸気・排気口をふさぐ状態でのご使用はしないでください。



禁止

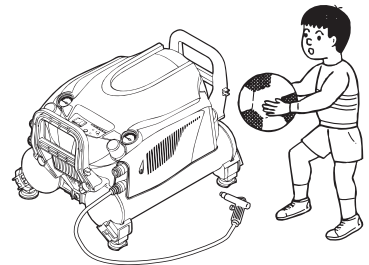


（カバー内部の温度が上がり、製品寿命が短くなります。）

お子様や作業関係者以外は近づけないでください。



禁止

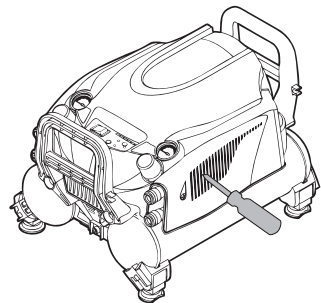


（いたずらや、誤った操作により思わぬ人身事故を招きます。）

開口部にくぎ、ドライバー、テープなどの異物を入れないでください。



禁止

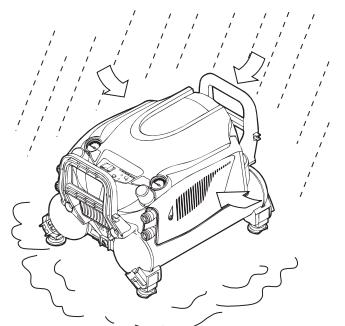


（製品の破損や人身事故を招く場合があります。）

雨、ぬれた場所、蒸気などの湿気の多い場所やごみ、ほこりの多い場所でのご使用はしないでください。



禁止

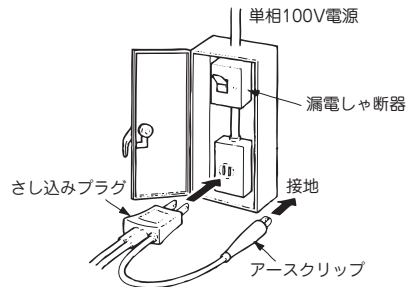


（感電事故、サビつき、摺動部の加熱事故や異常摩耗の原因となります。）

4. 運転準備から停止まで

1. 運転準備

1. 各部のボルト、ねじの緩みがないか確認してください。
2. 運転するときは、必ず足ゴムを下にして床面に設置し、床面が硬く凹凸のない水平な所で使用してください。
3. さし込みプラグをさし込んだ時、電源コンセントがガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。
4. スイッチが[OFF]になっていることを必ず確認してください。
5. 樹脂カバー内の電気配線はすべて完了しています。コードをハンドル部からすべて取り外し、コンセントに接続してください。この時、コードに無理な力を加えないでください。また、さし込みプラグの金属部には手を触れないでください。
6. こ使用できる電源は単相 100V のみです。発電機や直流電源では使用しないでください。
7. 電源は十分余裕のある 30A 以上の容量としてください。
8. 本機が接続される電源に、感電防止用漏電しゃ断装置 (15mA 相当) (以下漏電しゃ断器と言います) を設置してください。
9. 本機は必ずアース (接地) をしてください。接地工事は電気工事士の資格が必要ですのでお近くの電気工事店にご相談ください。
10. 使用できる外気温度は 5 ~ 40℃ です。



⚠ 注意

外気温度が 5℃ 以下および 40℃ を超える場合は、動作不良、寿命低下、破損の原因となります。

11. 継ぎ (延長) コードを使用する場合

⚠ 警告

継ぎコードは、損傷のないものを使用してください。

漏電しゃ断器やアース (接地) については、次の法規がありますので、ご参照ください。労働安全衛生規則 (第 333 条、第 334 条) 電気設備の技術基準 (第 19 条、第 29 条、第 40 条)

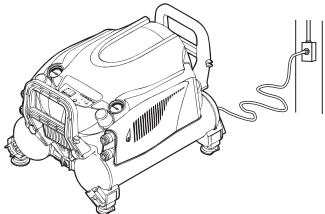
継ぎコードを使用しますと電圧降下によるトラブルの原因となります。なるべく、継ぎコードのご使用を避け、直接電源に接続してください。

正しい使い方

継ぎコードご使用時のご注意 (許容長さ 30m)



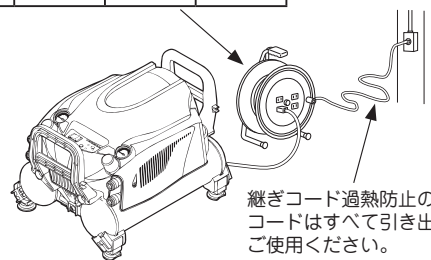
直接、電源に接続してください。電源は十分余裕のある 30A 以上の容量としてください。



電源から離れた場所で使用する場合は継ぎコードの使用は避けて、延長ホースでの使用をおすすめします。

太さ 機種	1.25mm ²	2.0mm ²	3.5mm ²	電源
EC1443H	×	○	◎	◎

◎ : 安心して使用可能
○ : 使用可能
× : 使用不可



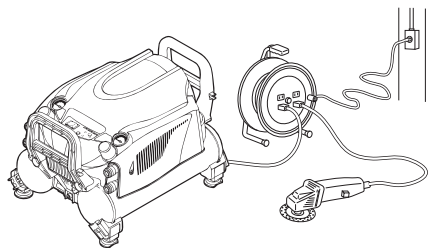
継ぎコード過熱防止のため、コードはすべて引き出してご使用ください。



禁止

継ぎコードでの他の機器との併用は避けてください。

電源容量不足、電圧降下による故障の原因となります。



○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

2. 運転

1. ドレンコックを全開にしてから、電源スイッチを **ON** にしてください。
2. ドレンコックの排出チューブから空気の出ることを確認してください。
3. ドレンコックを全閉にし、空気タンク内の圧力が上昇するのにもない空気タンク内圧力表示の LED が点灯します。
4. 空気タンク内の圧力が約 4.2MPa {約 42.8kgf/cm²} になりますと 6 個の LED が全て点灯し圧縮機が停止します。
5. 減圧弁による圧力の調整は、ノブを右いばいに回し圧力を上げ、次にノブを左いばいに回し圧力を下げたのち、必要な圧力に調整してください。高い圧力から調整しますと、使用中に調整圧力が下がる場合があります。
ご使用の空気量が多く、空気タンク内圧力が大きく下がるような場合、減圧弁の特性により調整圧力が約 0.2MPa {約 2kgf/cm²} 程度上昇することがあります。

6. 減圧弁で設定できる最高取り出し圧力は一般用で約 0.8MPa {約 8.2kgf/cm²}、高圧用で約 2.5MPa {約 25.5kgf/cm²} です。
7. 高圧用減圧弁は、ノブを左いばいに回すと約 0.5MPa {約 5.1kgf/cm²} の取り出し圧力になります。(約 0.5MPa {約 5.1kgf/cm²} 以下の圧力は取り出すことはできません。)

8. Vモードと普通モードの切替え

- 本機は、使用空気量に応じ再起動 ON 圧が 3.2 ~ 3.8MPa で可変し、且つ高速・低速運転を自動的に選択する Vモードと、従来と同じ再起動 ON 圧が 3.2MPa で高速運転する普通モードを搭載しています。通常は、作業に合わせて運転制御を自動切替えする Vモードのご使用をお勧めします。従来と同じ固定運転をご希望の場合には、普通モードをご使用ください。**[MODE]**切替ボタンを押して LED が点灯すると Vモードに切替わります。**[MODE]**切替ボタンをもう一度押して LED が消えると普通モードに戻ります。

9. カブラにエアホースを接続して作業を開始してください。

- 高圧用は高圧専用エアプラグ、ホースをご使用ください。エアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。

- 減圧弁の調整圧力を下げた時、接続ホースの空気は減圧弁から大気に逃がすようになっています。その時、シューという音がでます。

10. インバータ制御について

- 本機はインバータ制御により、回転数を変化させています。この回転数の変化により運転音が変わりますが、異常ではありません。また、インバータ制御により低電圧でも運転は可能ですが温度上昇などによる製品寿命の低下につながりますので低電圧での運転は避けてください。

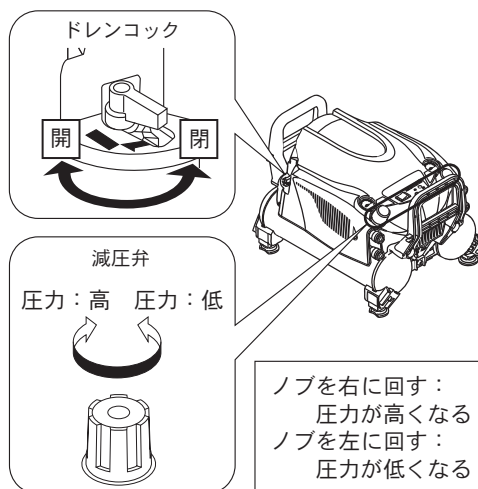
- ラジオなどに対して電波ノイズが影響する場合がありますので本機より状況に応じ約 1m 以上離してご使用ください。また、本機を自動車に搭載して使用する場合も、ラジオに電波ノイズが影響する場合がありますので、アース接続の確認と自動車からおろしてご使用ください。

11. 運転停止機能について

- 本機には下記の異常時対応の運転停止機能を設けています。

- ・モーター焼損保護のサーマルプロテクタ作動による停止
- ・電圧降下、過電圧等の電圧異常による停止

また、本機には上記の停止の場合、警報機能を設けています。P10「12. LED の点滅による警報機能について」を参照し、対応してください。



警告

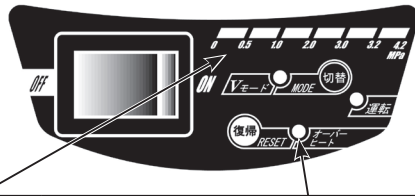
1. 一般取出口には、別売の耐熱温度 60℃ 以上、最高使用空気圧力 0.98MPa {約 10kgf/cm²} 以上、呼び径 6mm 以上のホースを使用してください。
高圧取出口には、高圧専用プラグ、ホース以外は使用しないでください。
(破裂事故の防止)
2. 本機に接続するエアホースとホース金具は十分な耐圧があり、また確実に固定されていることを確認のうえ、使用してください。(抜けによる事故防止)
3. カブラに重量物を直接接続しないでください。
(破損事故防止)
4. 空気工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には、減圧弁を設定しないでください。
(破損、破裂事故防止)
5. 連続運転となるようなご使用はしないでください。(圧縮機本体、モーターが高温となり、寿命が低下します。)
6. サーマルプロテクターなどの運転停止機能が作動しなくなるような改造は絶対しないでください。
(起動不良などによる焼損事故防止ができなくなります。)

注意

1. 電源スイッチを切り、次に運転する場合は、5 秒以上の間隔をとってください。(短時間で ON - OFF 操作を繰り返しますと起動不良を起こすことがあります。)
2. 電圧が極端に低く運転停止機能が作動しない場合は、サーマルプロテクターが作動せずにモーターがうなり音を発した状態が続き、モーターの焼損に至る場合があります。
3. 電圧の低い状態および高い状態で使用されますと、性能低下さらに、故障の原因となり、製品寿命を短くしますので適正な電源でご使用ください。

12. LEDの点滅による警報機能について

本機には電圧や圧縮機の異常時に自動的に運転を停止する機能と、これらの異常をLEDの点滅でお知らせする警報機能を搭載しています。圧縮機が運転を停止しLEDが点滅している場合は、下表により対応してください。



現象 (LEDの点滅)	空気タンク内圧力表示 6個のLEDが同時点滅	オーバーヒートのLEDが点滅
原因	電圧が低すぎる、または高過ぎるため運転を停止しました。	圧縮機が過熱し、内部のサーマルプロテクタが作動しました。
対応	電源や継ぎコードの接続を改善 (P8を参照) したのち「復帰ボタン」を押してください。	電源や継ぎコードの接続を改善 (P8を参照) し、また圧縮機を風通しの良い場所に設置し直し、十分冷却したのち「復帰ボタン」を押してください。

運転再開後、圧縮機の停止・LEDの点滅が繰り返される場合、圧縮機の故障が考えられますのでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターへ連絡してください。

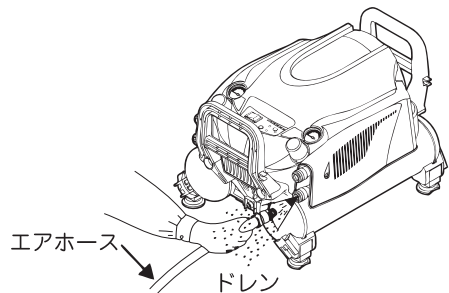
3. ご使用後

1. 電源スイッチを「OFF」にし、さし込みプラグを抜いてください。さし込みプラグの金属部には手を触れないでください。
2. ドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いてタンク内のサビつきを防いでください。

ドレンコックを急激に開きますと地面、床等ではねかえったドレンおよび空気が体にかかる場合があります。周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンコックを開き、排出具合を調整してください。

3. 空気タンク内のドレンがすべて抜け、圧力計が 0MPa {0kgf/cm²} となっていることを確認してからドレンコックを閉じてエアホースをはずしてください。

空気タンク内の空気が残っているうちに、エアホースをはずしますと、ホース側の空気が放出され大きな音とともに、カプラ部に残っているドレン (水) が飛散します。



警告

1. 使用後や移動時には、必ず電源スイッチを切り、ドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気を抜いてください。
2. ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および磨耗粉、サビなどが含まれます。
 - 顔に向けてドレンを排出しないでください。また、周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンを排出してください。(失明するおそれがあります。)
 - 顔を近づけてエアホースを抜かないでください。(失明するおそれがあります。)

4. 運搬

1. 運搬はていねいに行ってください。
2. 車での運搬時は移動防止を施してください。

警告

1. 落したり、ぶつけたりしますと、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中の圧力により、破損片が飛散し、人身事故につながる場合があります。
2. ハンドルに変形や破損およびねじの緩みがある場合、運搬中に落下して破損および人身事故につながる場合があります。
3. ハンドル、空気タンク、制御ボックスなどに変形や破損および、ねじの緩みがある場合はそのまま使用せずにお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに連絡し、修理を依頼してください。
4. コードを無理に引っ張らないでください。断線やショートの原因となり、焼損事故につながります。

5. 保管

1. 長期間 (約 1 ヶ月) ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5 分以上の運転を行い、サビつきなどによる不具合を防いでください。
2. 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない場所に保管してください。

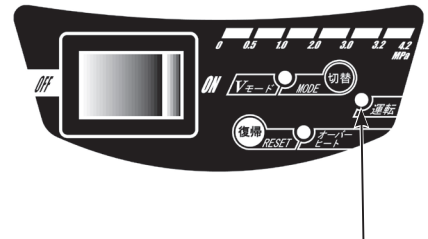
6. その他のご注意

1. 本機は釘打機用を対象としており連続運転では使用できません。
2. 寒冷地 (凍結する温度以下の環境) の場合は、
 - ・ドレンの凍結による動作不良、場合によっては、損傷にいたることがありますので本製品自身を暖めてから運転させるような凍結防止の処理を行ってください。
 - ・低温での起動不良が発生した場合は、直接電源に接続して、ドレンコックを全開にして暖機運転をしばらく行ってから使用してください。
3. 取り出し空気中には、吸い込み空気中の水分が結露してドレンとして混入します。取り出しホース途中においてフィルターなどを通してご使用をおすすめします。

5. 保守・点検

高圧エアコンプレッサを調子よく長持ちさせるために、日常の手入れが大切です。以下の保守・点検を行ってください。

点検内容	点検期間：日常（毎日）
ドレンを抜く	○
制御機器の作動具合を確認（圧力計、減圧弁）	○
異常振動、異常音などの確認	○
制御ボックス、樹脂カバー、ハンドルのボルトの緩み確認	○



★オーバーホール時期お知らせ機能について

本機には実働 450 時間を経過しオーバーホール時期が近づいたことを LED の点滅によりお知らせする機能を搭載しています。電源スイッチを [ON] にした直後に運転の LED が約 5 秒間点滅する場合には、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターへ連絡しオーバーホールを行ってください。

6. 故障のときは

次のような現象を発見した場合はお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに連絡し、修理してください。

1. 電源スイッチを [ON] しても運転しない。
また、モーターが起動しない。
2. 運転中に異常振動、異常音がする。
3. 圧力が上昇しない。
4. 空気を使用しないのに 5 分以内に再起動する。
5. 空気タンクに変形や亀裂が生じた場合。
6. 制御ボックスに変形や破損が生じた場合。

⚠ 警告

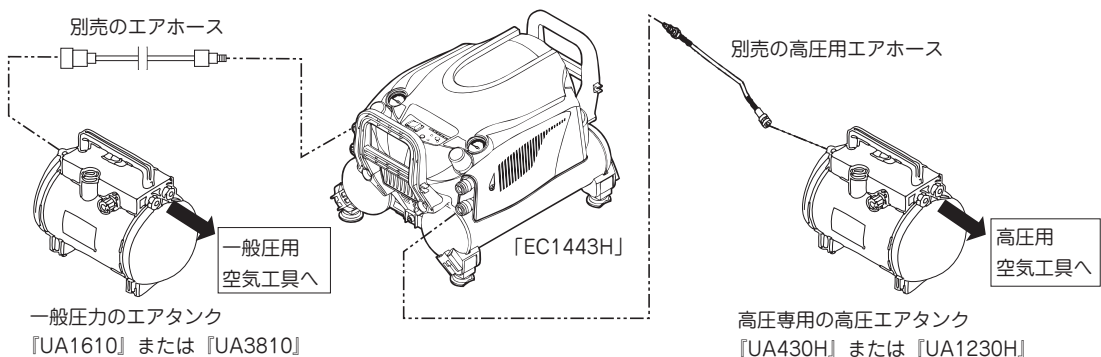
分解、点検、オーバーホールおよび故障のときは、お買い求めの販売店または日立工機電動工具センターに連絡し、修理してください。カバーを開けたり、分解をしないでください。（人身事故の原因）

7. 補助タンク接続について

瞬時に多量の空気を消費する場合は別売のエアタンクをご利用ください。

- (1) 一般圧力のエアタンク「UA1610」または「UA3810」のご利用：高圧エアコンプレッサに付設の一般用カプラとエアタンクの空気取入口を別売のエアホースで接続してください。注）高圧用カプラへは接続しないでください。
- (2) 高圧専用の高圧エアタンク「UA430H」または「UA1230H」のご利用：高圧エアコンプレッサに付設の高圧用カプラと高圧エアタンクの空気取入口を別売の高圧用エアホースで接続してください。

★エアタンクの性能を十分に発揮していただくため、エアコンプレッサの減圧弁は最高圧力に設定し、空気工具への供給圧力はエアタンクの減圧弁で設定してください。



■ 標準仕様表

		EC1443H	
		普通モード*	Vモード
使用電源		単相交流 電圧 100V 周波数 50/60Hz 共用	
モーター		直流 ブラシレスモーター	
出力		1,250W	
空気タンク内最高圧力		4.2MPa {42.8kgf/cm ² }	
運転制御圧力	OFF 圧力	4.2MPa {42.8kgf/cm ² }	
	ON 圧力	3.2MPa {32.6kgf/cm ² }	3.8～3.2MPa {38.7～32.6kgf/cm ² } 使用空気量に応じ可変
取出し可能圧力	一般	0～約 0.8MPa {0～約 8.2kgf/cm ² }	
	高圧	約 0.5～2.5MPa {約 5.1～25.5kgf/cm ² }	
シリンダ径×行程×シリンダ数	低圧	67mm×22mm×1	
	高圧	45mm×10mm×1	
回転速度		可変 (最大 2,600min ⁻¹ {2,600 回 / 分})	
吐出し空気量	0.7MPa {7kgf/cm ² }	145L/min	
	2.3MPa {23kgf/cm ² }	95L/min	
空気タンク容量		9L	
外形寸法 (幅×奥行×高さ)		354mm×506mm×323mm	
質量		16kg	
空気取出口	一般	カブラ×2 個	
	高圧	高圧カブラ×2 個	
コード		アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル 約 2m	

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (No.) などをご記入欄にメモしておかれますと、修理を依頼される時便利です。

お買い上げ日	年	月	日	販売店
製造番号 (No.)				電話番号

■日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

全国営業拠点

営業本部	〒108-6020 東京都港区港南二丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)	☎ (03)5783-0626 (代)
北海道支店	〒060-0003 札幌市中央区北三条西四丁目 (日生ビル)	☎ (011)271-4751 (代)
東北支店	〒984-0002 仙台市若林区卸町東三丁目 3 番 36 号	☎ (022)288-8676 (代)
東京支店	〒110-0016 東京都台東区台東四丁目 11 番 4 号 (三井住友銀行御徒町ビル)	☎ (03)5812-6331 (代)
中部支店	〒460-0008 名古屋市中区栄三丁目 7 番 13 号 (コスモ栄ビル)	☎ (052)262-3811 (代)
北陸支店	〒920-0058 金沢市示野中町一丁目 163 番	☎ (076)263-4311 (代)
関西支店	〒530-0001 大阪市北区梅田二丁目 6 番 20 号 (スノークリスタル)	☎ (06)4796-8451 (代)
中国支店	〒730-0011 広島市中区基町 11 番 13 号 (第一生命ビル)	☎ (082)228-0537 (代)
四国支店	〒761-0113 高松市屋島西町字百石 1981	☎ (087)841-6191 (代)
九州支店	〒813-0062 福岡市東区松島四丁目 8 番 5 号	☎ (092)621-5772 (代)

●電動工具ご相談窓口 —— お買物相談などお気軽に電話ください。

お客様相談センター

フリーダイヤル

0120-20-8822 (無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く 午前 9:00～午後 5:00)

電動工具ホームページ — <http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/>

 **日立工機株式会社**